

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
大阪デザイナー専門学校		昭和37年4月1日	青山 直		〒530-0003 大阪市北区堂島2-3-20 (電話) 06-6345-4676		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 大阪安達学園		昭和43年5月14日	安達 暁子		〒530-0002 大阪北区曽根崎新地2-5-9 (電話) 06-6344-3931		
目的	広告、編集物を彩るエレメントとしてのイラストレーションの役割を学び、様々な描画剤・表現方法を習得し効果的な発表形態を模索する。合目的なデザインの範疇での自己表現を探究する。習得した表現方法を基盤に市場リサーチを行い、各種デザインツールの企画、制作を行う。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
文化・教養	デザイン専門課程	イラストレーション 学科		平成6年文部省 告示第84号			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		1,920	572	0	1,348	0
		単位時間					
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人		95人	4人	9人	13人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 課題評価、試験等評価により		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月26日～9月5日 ■冬季:12月20日～1月9日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件		卒業条件:規定単位修得及び卒業課題に合格し且つ学費の完納者 進級条件:卒業見込み者		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 本人及び保護者へのカウンセリング等		課外活動		■課外活動の種類 エクステンション講座、学校祭、合宿等 ■サークル活動: 無		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 (株)アイドマ (株)カミオジャパン デザイン制作業界 ■就職率 ^{※1} : 84.4 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 72.5 % ■その他 (平成 26 年度卒業者に関する 平成27年5月1日 時点の情報)		主な資格・検定等		色彩士検定		
中途退学の現状	■中途退学者 6名 ■中退率 6.4 % 平成26年4月1日 在学者 94名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 88名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、病気療養、進路変更、家庭の事情等 ■中退防止のための取組 欠席者へ日々の電話連絡、学校行事(球技大会・合宿・学校祭等)への参加促進						
ホームページ	URL: http://www.odc.ac.jp						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年10月15日現在

名 前	所 属
大平 雅章	一般社団法人 総合デザイナー協会 専務理事
山本 眞弘	株式会社 夢現社 代表取締役

(開催日時)

第1回 平成27年3月6日 17:00~18:00

第2回 平成27年6月19日 17:00~18:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

市場における消費者と制作者の関係をリサーチにより考察する。販売促進の手段としてのビジュアル表現の可能性について検証、企画の構築。ニーズに即した効果的な視覚的デザイン制作を探索す

科目名	科目概要	連携企業等
写真印刷実習	イラストレーターを中心にDTP印刷の知識と実習を行い、実践的な作品を制作。	有限会社 ヴィジョン・トラック

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「研修等」を実施し、教員として必要な知識と質の向上を図り、学生の知識・技能等の修得と充実した学校生活を提供できるよう、定期・不定期に拘らず関係教職員の指導力向上を目指すことを目的として実施するものとする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年10月15日現在

名 前	所 属
山本 眞弘	株式会社 夢現社 代表取締役
本井 啓治	本井公認会計士事務所
藤井 卓	株式会社タック
渡邊 政人	株式会社アйдマフオト
小笠原 圭彦	小笠原写真事務所
高田 泰生	株式会社サップス
下城 惇	東方典礼カトリック教会
森本 博士	大阪観光専門学校卒業生保護者
橋本 匡史	株式会社サップス

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.odc.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.odc.ac.jp>

授業科目等の概要

(デザイン専門課程 イラストレーション学科) 平成27年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩学	色彩の基本を把握し、色彩調和や色による視覚効果を学習する。	1前	34	○			○				
	○		造形理論	1950年代以後の美術を軸に「つくる意味」と「いろいろな表現」について考察する。	1後	34	○			○				
		○	美術デザイン史	人間が歴史の中でモノを作り出した営みを振り返り、デザインの源流を探りつつその時代のデザインのあり方を再認識する。	1後	34	○			○				
○			デザインメディア	デザインと人とモノと空間の関係や、デザイナーの心構えの基礎を学ぶ。	1前	34	○			○				
○			視覚伝達計画I	視覚を通して情報を伝えるときにどのような形にすれば効果的に伝えることができるかを学習する。	1前	34	○			○				
○			創造理論	発想や想像力は習慣化された意識やトレーニングから開発されるものであることを学習する。	1前	34	○			○				
○			編集論	雑誌、書籍、フリーペーパー、カタログなどの編集媒体を編集デザインするための知識を習得する。	1後	34	○			○				
○			イラストレーション概論	デザインやイラストレーションに必要な基本的描写力(形や質感の観察および各種画材の表現)の習得。	1後	34	○			○				
○			演出論	イメージを形成する要素(色、形、素材)の様々な構成を学習し制作する。	1後	34	○			○				
○			デッサン	あらゆる物を描写するための写實的、客觀的表現力を習得する。	1通	##				○	○			
○			表現技法	メッセージを形にする過程を理解し、様々な表現方法を学習し制作する。	1通	##				○	○			
○			造形素材	様々な表現を駆使しイラストレーション観の拡大とオリジナルな表現を目指す	1通	##				○	○			
○			平面立体造形	様々な紙の特性を理解把握し、平面から立体へのプロセスを実験制作する。	1通	##				○	○			
		○	イラストレーション技法基礎	イラスト表現に必要な基本的描写力の習得。各種画材の表現方法を体験。	1通	##				○	○			
		○	デジタル演習	マッキントッシュ及びイラストレーター・フォトショップの基本的な知識と技術の習得。	1通	##				○	○			
○			基礎I	各専攻分野に対して基礎知識・技術を習得	1通	68				○	○			
合計				16科目	1020単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し且つ卒業制作を受取されること	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(デザイン専門課程 イラストレーション学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			表現心理学	将来の仕事(就職)等に対し、自分の作品制作に対する考え方を構築し自分ならではの表現方法を模索する。	2通	60		○			○			○	
	○		視覚伝達計画Ⅱ	視覚を通して情報を伝えるときにどのような形にすれば効果的に伝えることができるかを学習する。	2通	60		○			○			○	
	○		広告概論	アイデア着想、商品開発、促進、広告から販売、流通戦略までのプロセスと組み立て方を考える。	2通	60		○			○			○	
	○		画像計画	デジタル技術の状況や問題点を的確に把握する事で、これからのデジタルをとはどうあるべきかを考える。	2通	60		○			○			○	
	○		文章表現Ⅰ	文章の作成の基礎から決められた文字数で文章を書く技術を学ぶ。	2通	60		○			○			○	
	○		文章表現Ⅱ	文章の作成の基礎から決められた文字数で文章を書く技術を学ぶ。	2通	60		○			○			○	
	○		写真印刷論	デザイナーとして現場に必要な写真知識と印刷の知識を習得する。	2通	60		○			○			○	
○			描写技法演習	様々な素材を課題に基礎表現力を向上させる。	2通	##					○	○		○	
○			イラストレーション制作技術	イラストレーションの制作に必要なテーマとテクニックを研究する。	2通	##					○	○		○	
○			写真印刷実習	イラストレーターを中心にDTP印刷の知識と実習を行い、実践的な作品を制作。	2通	##					○	○		○	○
	○		イラストレーション	イラストレーションの制作に必要なテーマとテクニックを研究する。	2通	##					○	○		○	
	○		アートイラストレーション	イラストレーションの分野の中でも特に提案性の高い表現を試みる。	2通	##					○	○		○	
	○		絵本	絵本の制作に必要なテーマとテクニックを研究し絵本作家としての可能性を考える。	2通	##					○	○		○	
	○		挿し絵イラストレーション	編集媒体(雑誌、書籍等)を前提にしたイラストレーションの表現。	2通	##					○	○		○	
	○		ファンタジーイラストレーション	日常生活の中では目にすることのできない幻想世界。心の中の世界を表現する。	2通	##					○	○		○	
○			基礎Ⅱ	各専攻分野に対して基礎知識・技術を習得	2通	##					○	○		○	
合計					16科目		900単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し且つ卒業制作を受理されること	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。